

「北陸防災情報通信セミナー」を開催

～被災現場の映像伝送・災害時の通信機能復旧のために～

北陸情報通信協議会は、平成27年12月10日、金沢市内の石川県地場産業振興センターにおいて、総務省北陸総合通信局及び北陸地方非常通信協議会との共催により、「北陸防災情報通信セミナー」を開催し、国や自治体などの防災関係機関や放送事業者など約80名が熱心に聴講していました。

セミナーでは、初めに、株式会社日立国際電気映像・通信事業部の加藤数衛技師長から、「公共ブロードバンド移動通信システム」の概要について紹介していただくとともに、デモンストレーションでは、移動機を搭載した車両がセミナー会場から金沢港までの約4kmを走行し、会場からの指令に応じてズームアップした映像などが伝送され、会場の屋上に設置したアンテナで受信して、見通し外となった道路からでも、鮮明かつ途切れのない映像が映し出されました。

次に、総務省電気通信技術システム課の影井敬義課長補佐が、総務省における災害時の通信確保に関する取組について説明し、引き続き、日本電信電話株式会社未来ねっと研究所の小田部悟士主幹研究員から、災害時に通信機能を早期復旧できる「移動式ICTユニット」について実機を用いて紹介していただきました。

セミナー終了後は、実際にデモンストレーションで使用した「公共ブロードバンド移動通信システム」及び「移動式ICTユニット」が展示され、参加者は、担当者に熱心に質問をしていました。



主催者挨拶
北陸総合通信局 星 克明 局長



日立国際電気
加藤 数衛 技師長



「公共ブロードバンド移動通信システム」の
デモンストレーション



総務省総合通信基盤局
影井 敬義 課長補佐



NTT未来ねっと研究所
小田部 悟士 主幹研究員



移動式ICTユニット